

2019 忘年山行 玄岳（くろたけ 799m）山行報告

☆日 程：12月1日（日） 天候:晴れ

☆行 程：熱海駅バス停 10:31=10:55 玄岳ハイコース入口 11:00⇒12:06 熱海新道（陸橋）・才
槌の洞（536m）⇒13:06 玄岳山頂（799.2m）－昼食・撮影－13:37⇒14:10 熱海新道（陸橋）・
才槌の洞⇒15:04 玄岳ハイコース入口 15:36=熱海駅 16:05=16:15 真鶴 16:40? =（タクシー）
=16:50「うに清/真鶴」（宴会）18:40=（タクシー）=18:50? 真鶴 19:18? =19:31? 小田原
実働時間：約4:00（除く宴会時間）（注）山行コースタイムは、三浦時間先発隊と約30分遅いペース

☆参加者（敬称略）：三浦(L)、河野、上島、中野、伊藤、加田、市川、生田目、高木、若林、望月*、
岩堀** *山行参加 **宴会参加 計12名

☆所 感：

きょう登った山、玄岳は静岡県熱海市・函南町・伊豆の国市にまたがる伊豆半島の最北の位置にある。JR熱海駅・伊豆東海バス3番乗り場から「ひばりが丘」行きに乗る。ただこのバスは熱海の住宅、商店街を周回してちょこちょこ停車し乗り降りする客も多く普段の山行に利用するバスとちょっと雰囲気が違う。20分余りでバス停「玄岳ハイコース入口」で下車する。バス停から数メートル戻りすぐ右手住宅街を山側に向かって舗装路を行く、これがなんと急坂20分ほど続く、ここの住人は日々の生活でこの坂を上り下りしているのかと他人事ながら大変だと思う。

舗装路を過ぎ何となく登山道に入る。最初に迎えるのは鬱蒼（うっそう）とした竹林、静寂な森と山の香りを感じながら落ち葉の上を歩いていく。スタートしてほぼ1時間ほどで熱海新道の陸橋に出る。そこに「才槌の洞（さいづちのほこら）」の看板あり謂れが書いてある。このあたりで行程の約1/3になる。玄岳までは殆ど眺望が望めず、林や笹場の山道を歩くが才槌の洞をスタートして1時間少し、頂上手前から急に視界が開けて富士山、駿河湾と箱根、相模湾と両サイドの景観を楽しむことができた。このあと忘年会場「うに清」のある真鶴半島も望める。「うに清」は2016年の忘年山行時に利用した磯料理の美味しい店として人気があり再度利用することになった。歩き始めて約2時間で山頂に着いた。（先着組は約3分ほど前に着いている。）

玄岳山頂は笹が広く刈り取られており、左手から駿河湾と沼津アルプス、中央に雪で覆われた白い富士山、さらに右に目を移せば箱根連山と相模湾まで見渡せます。山頂からの360°パノラマと富士山の姿はまさに絶景！皆さん写真を撮るのに忙しい。山頂には他のグループは見当たらず当会の貸し切り状態、駿河湾からの風が強かったので笹の茂み近くでシートを引いて個々に昼食を摂った。風の強いこともありまたバスの時間に合わせるべく早々に山頂にいた全員で記念写真を撮り、予定の13:37過ぎに下山した。今回は、ピストンなのでスタートのバス停まで登った道を下った。下りも先着組と2組に分かれたがそれぞれ予定の15:06と15:26バスに乗り熱海駅で合流した。熱海駅で望月さんと別れ10人は真鶴駅でタクシー分乗し忘年会上の「うに清」に向かった。全員「うに清」での磯料理と岩堀さんのご主人からの差し入れのキンメダイの煮つけを満喫し今年の忘年山行を無事終えました。なお、今年一年を通して無事故に終えたことに感謝！来年もみなさん元気で安全に山歩きができることを祈念して乱筆を置きます。

2019.12.4 文責：三浦

写真：<https://www.kazenokai-hikingclub.com/2019> ギャラリー/

動画・YouTube：<https://www.kazenokai-hikingclub.com/動画-youtube-15/>